

Society5.0・Connected Industries実現に向けて

第2回セミナー「モノづくり・ロボット・・・新時代」

～目指せ！日本一ゆる～い産学官金協同体～(略称:ゆる協)

＜開催報告＞



※参加者47名！
超満員の会場の聴講風景



※寄せられた質問は、内容ごとに分けマインドマップとして見える化。Q&A形式で展開。

中小機構東北本部では、47名の方に参加いただきセミナーを開催いたしました。

- 日時:平成29年11月14日(火)
- 会場:中小企業基盤整備機構 東北本部 セミナー室
- ゲスト:株式会社 浜野製作所 代表取締役 CEO浜野慶一氏

ロボットビジネス支援機構 副理事長 北河博康氏

【プログラム】案内人:中小機構東北 経営支援部長 中島康明

- 16:00 主催者挨拶 中小機構東北 本部長 高村 誠人
- 16:10 第1部<識る>セミナー「モノづくりはどうなる？」
- 17:30 第2部<関わる>質疑応答(パネルディスカッション)
- 18:30 第3部<始める>意見交換・交流会

第1部<識る>セミナー「モノづくりはどうなる？」



浜野慶一氏は ㈱浜野製作所の経営理念と挑戦を語る

- ・「おもてなしの心」を持ってお客様・スタッフ・地域に感謝するという経営理念は、過去の近隣火災、貰い火よりもたらされた苦境の経験が礎となっている。
- ・下請からの脱出を目指して、大学や研究機関などとネットワークを形成したりアイデアの提案を大企業に向けて行っている。



北河博康氏は、ロボットビジネス支援機構 (RobiZy)の役割を語る

- ・人手不足の解消、重労働からの開放、生産性の向上など社会課題の解決と新しい成長産業創出のために次世代ロボットは医療・介護などを含み幅広い分野で期待されている。
- ・RobiZyでは次世代ロボットの開発・普及促進・ビジネス化を支援している。

第2部<関わる>質疑応答 (パネルディスカッション)



Q&A(抜粋)

Q:連携のポイントは？

A:事業を行う人同士が繋がることや信頼関係を築けること、また地域行政との繋がりを持つこともポイントです。



Q:異業種連携で重要な事は？

A:異業種連携は中小企業の持つ地域性と個々への対応能力の強みを活かせるが、人と人との信用と、信頼できる人かを見極めることが重要です。

第3部<始める>意見交換・交流会



※飲み物とちょっとしたおつまみつき
の交流会！

名刺の交換、新たな繋がり、発見を
求め積極的な会話が飛交った。



※交流会最後には、浜野社長お決まりの『ストロングポーズ』でパワー注入！！